

< 合歡のうた >

— 衣 替 え —

初夏の日差しを浴びて園舎をめぐる木々も萌黄色の若葉に衣替え!! すっぼりと緑のグラデーションに包まれて園庭はホットスポットになりました。ひよこさんも親子分離で登園し年少さんの足取りも日に日に軽やかになってきました。シグザグ、カラースベリ台、三輪車、砂場、鉄棒、ボールを追う子、三輪車で風を切って駆け抜ける子と、子ども達は縦横無尽に楽しみを見つけ出しているようです。"ここにいた!!"と思うと遠くから声が掛かりビックリ!! その俊敏な動きと機動力に感嘆です。さて、子どもは何故走り回るのでしょう? 全血液量の70%が集中する下半身の血液をポンプの役割を果たして心臓に戻しているのが「第二の心臓」と言われている「ふくらはぎ」です。子どもは心臓の力が弱いので第二の心臓=ふくらはぎの役割が最重要です。一説には、「その動きをより活性化するために本能的に走り回るので」とも言われています。ともあれ好奇心旺盛な子ども達は何に対しても興味を示し、やってみようという気持ちが強いようです。いつでも、どこでも、その先に「おもしろいこと」、「楽しいこと」が待っていると思えるからこそその動きなのでしょう…? 子ども達の活動をより豊かにするには、トラブル回避、安全に関する対応が必須です。問題解決の糸口は、その時その場で伝えるのがまずは、ベストのようです。園では、あそびを通して習得してゆけるよう折に触れて関わってまいります。ご家庭でのご協力よろしくお願いたします。

六月は衣替え。日本の風土に合わせた先人の知恵ですが、松中では衣服の調節のみでなく子ども達が我身、我心を衣替えしはじめたようです。

